

りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉サポートセンター
りとるらいふ
発行日: 2022年7月

じめじめとした梅雨が明けいよいよ夏本番ですね! 🍉 7月と言えば! セタ! ☀️ 皆さんは短冊にどんな願い事を書きましたか? 一年に一度願い事する瞬間は幾つになってもワクワクしますね!

さて、今月号のトップ記事はセタにちなんで、各事業所でのイベントに関する願い事や、セタイベントの予定についての特集です! 🦟 感染症の影響でイベント開催が厳しい現状ではありますが、夢は大きく! 皆さんの願い事が実現しますように! 願っております😊



『教えて! 私たちのセタ!』

- ① 「1回だけ利用者様達と大きいイベントをする(出来る)なら何がしたいですか?」
 - ② 「事業所でセタのイベントを考えている事があれば教えてください!」
- こちらの2つの質問に答えていただきました!

きら

- ① お一人おひとりの嗜好や希望に沿った、外出や旅行、その他いろいろできたらなあ・・・。
- ② きらでは集団が苦手な利用者も多く、セタ含め、全体でのイベントは予定していません。



とも

- ① 日帰り旅行に行って、皆さんと楽しい思い出作りがしたいです。
- ② 7月4日にセタの飾り作りをします。

らん

- ① 以前行った放デイ3事業所合同のテイクアウトをもう一度してみたいです。
- ② イベントは考えていません。制作活動として、ペットボトルを使った風鈴を作り、そこに短冊をつけるように考えています。



もーと

- ① ばれっと屋上で直江津祭りの「花火」を見たいです。
- ② セタ飾りの制作、7/7に栄養士特製セタゼリーを食べます。



にこ

- ① 日本列島 北から南までのジップライン制覇!!
- ② タイダイ染めを天の川風に展示します。



ふぁみりあ

- ① 入居者さんが行きたい場所へ1泊旅行。ふぁみりあ職員の希望は・・・北海道旅行か沖縄旅行(温泉付き)
- ② セタ飾り作り&おやつにフルーチェ作り



行事の様子は次回の8月号に!

「レーエッセイ」



「思い出の曲」



おなかを抱えて笑った歌が1つあります。学生時代の話です。深夜の「中島みゆきのオールナイトニッポン」をラジオで聴いていた時、中島みゆきの「玲子」という曲が流れていました。歌詞も暗めで曲調も暗め(ご存じの方もあいかと...)その歌詞を新潟弁に変えて中島みゆきが歌う...(一部紹介)

♪玲子～ いい女になったね～
新潟弁♪玲子～ばっかいい女になったね～

♪私の胸に痛すぎる～
新潟弁♪私の胸がばっかいて～

今は、YouTubeなどでいろんな方言で歌う動画があり耳にすることもあります。方言の暖かさと中島みゆきの歌う新潟弁が衝撃的だったのを覚えています。

らん 水瀬

次回のテーマ「元気をもらえた一言」
(エピソード含む)



「自分が得意なこと」



「得意なこと」と言うと少し烏滸がましいですが...私の好きな事は工作と手芸です✂️。工作に目覚めたのは、兄の結婚式です。「結婚式を控えた兄を喜ばせたい!」その思いで、ウェルカムボードを作りました。画用紙を1cm幅に細長く切り、切った画用紙を垂直に立てヒマワリを作りました🌻そして、入職してから手芸も好きになりました。ともの利用者さんに刺繍が上手な方がいます。その方を見て、「私もやってみよう!」と思い、見様見真似でやってみました。やはり、何年も取り組んでいる利用者さんほど上手にできませんでしたが、私なりの作品ができたと思います。

しかし残念なことに...私は「O型」です。「O型」...つまり、大雑把なのです💦大雑把な性格もきっと私の作品の味になってくれることでしょう...😅

とも 小満方

今回のテーマ「最近あった嬉しい出来事」



事業所に実習生が来ました!

上越公務員・情報ビジネス専門学校から5月30日～6月14日に、ともともーとへ実習に来てくれました!そこで実習生に感想を聞いてみました!



★ 林さん ★

12日間、様々な利用者さん達と関わる事ができ、自分の学びにも繋がりました!また楽しく関わる事ができて良かったです。

利用者の方や子ども達と楽しく関わる事ができて良かったです!



★ 内藤さん ★

各事業所

活動紹介



きら

きらのお昼休みの過ごし方を一部紹介したいと思います。集まって何をしているのかな？冊子のページをめくり数字をさがし！QRコードを見つけて塗りつぶし！職員が干している洗濯が気になり干してくれるご利用者様もいらっしゃいますよ。皆さん思い思いに自分の好きなところで過ごされています。



ららん

「お誕生日おめでとう！！」(〇〇)／今年のお誕生会は、お誕生日に一番近いご利用日のおやつタイムに、お祝いをしています。お友だちのお誕生日をお祝いするのも、されるのも「うれしい♡」という声とニコニコ笑顔がふれています(*´艸`)



とも

野菜の苗を植えました！トマト、ナス、キュウリ・・・と夏野菜がたくさん♪水やりと観察が日課になっています。小さい実ができたり、つるが伸びたりと成長が嬉しいですね。

早く大きくならないかな～と待ち遠しい毎日です😊



もーと

もーとでは、映画館イベントを開催しました🎬映画チケットと交換に、ジュース🍷とおやつを受け取って少し暗い中を進むと…壁一面の巨大シアターの登場です！スクリーンに映るキャラクターを不思議そうに触ってみたい、美味しいおやつを食べながらじっくりアニメを見たいと、それぞれの楽しみ方で盛り上がった「もーとシアター」でした(〇〇)



にこ

オリジナルハンカチを作ろう！ということで、タイダイ染め(絞り染め)で白いハンカチを染め上げました。十人十色というか、みんな違ってみんないい！作り方も出来上がりも個性様々。いろんな模様や色彩のハンカチと、それを作った子どもたちの笑顔で、にこも華やかに彩られました。



コラム

障害福祉分野における「支援」と「援助」の違い

障害福祉サポートセンターりとりらいふ 統括施設長 片桐 公彦

担当者からこのテーマでコラムを書いて欲しい、と依頼がありました。当たり前に手にしている概念ですが、じっくり考えると深いテーマだと気付かされます。私も考えをまとめる良い機会をいただきましたので、自分の思うところや、特に職員に伝えたいことについて、書いてみたいと思います。

私が福祉を学んでいた時に使われていた言葉は「社会福祉援助技術」で、今も変わっていないと思います。社会福祉を「学問」として捉えた時に、多くの場合「援助」という言葉でこの世界のことを学びます。でも実際は「援助」という言葉はあまり使わず、「支援」とか「サポート」という言葉を用いるように思います。ちなみに一般論でいえば「支援＝一部を支える・助ける」「援助＝全面的に助ける」と整理されます。その面でいうと、福祉サービスの対象となる人々は総てにおいて「できない」という文脈で語られるべきではなく、それぞれに出来ることや強みがあり、その意志や人格は最大限尊重されるべき、という哲学が「支援」という言葉を比較的多用している理由ではないかと思います。

また歴史的な流れや意識の変化の中で「支援」「援助」という概念そのものにも、変化が生まれました。例えば「療育」という言葉がありますが、現在は「発達支援」という言葉に置き換えられています。「治療」と「教育」をかけあわせた「療育」という「施し」を想起させるような表現ではなく、そのお子さんの育ちについて、家族へのサポートも含めた概念として整理しています。実際、厚生労働省の検討会報告書においても「療育」という文言はほとんど登場せず、ほぼ「発達支援」という言葉に統一されています。

そして福祉的なサポートが必要とされる対象となる方々についても「一方的に支援を受けるだけでなく、その対象は時として入れ替わる」という概念が登場しています。例えば精神保健福祉の分野においては「ピアサポート」の有効性が注目されていて「障害のある人自身が、自らの体験に基づいて、同じ障害のある方を支え合う」という考え方が定着しつつあります。

また「自立」の概念も根底から変わりつつあり、脳性麻痺の小児科医で東京大学先端科学技術研究センター准教授の熊谷普一郎先生は「自立とは依存先を増やすことである」と述べています。

このように、障害福祉分野においては様々な概念が変化しています。同じ場所からこの世界を眺めるのではなく、人々の価値観や願いの変化に真摯に向き合う謙虚さを、我々は忘れてはならないと、そんな風に思います。

退職者のお知らせ

総務課長 相羽正幸

今までありがとうございました



入職者のお知らせ

看護師 瓶子清布

これからよろしくお願いします！



防災訓練の実施

6月22日に防災訓練を実施致しました。きら・と

もでは、実際に利用者様に参加していただき、避難経路の確認を行いました。訓練後には今年の新卒入職者を中心に、火災報知機の仕組みや消火器の使い方も学びました。こうした訓練を行い、これからも安心してご利用頂けるように努めて参ります。

